

産業廃棄物収集運搬業実績報告書（平成29年度）

（特別管理産業廃棄物を除く）

30 年 5 月 7 日

東京都知事 殿

【報告者】

住所 東京都国立市谷保6300番地

氏名 株式会社 リスト
代表取締役 遠藤 重雄

（法人にあっては名称及び代表者の氏名）

電話番号 042-572-1300



運搬実績	①～③のいずれかの実績が ある ない	許可番号	13 - 00 - 017058
① 東京都内(八王子市除く) ⇒ 東京都内(八王子市除く) ② 東京都内(八王子市除く) ⇒ 他道府県又は八王子市 ③ 他道府県又は八王子市 ⇒ 東京都内(八王子市除く)		担当者氏名	三田 和広
担当者氏名	三田 和広	担当者電話番号	042-571-0010

産業廃棄物の収集運搬受託量

※自社運搬（排出者と運搬受託者が自社の場合）は、集計から除いてください。

コード	種類	数量 【単位：トン(t)/年】						コード	種類	数量 【単位：トン(t)/年】												
		百 万	十 万	万	千	百	十			小 数 点	少 数 点 以 下 6 桁	百 万	十 万	万	千	百	十	小 数 点	少 数 点 以 下 6 桁			
0100	燃え殻						0	●	000000	1300	紙くず						3	4	8	●	611000	
0200	汚泥						9	5	●	035000	1400	木くず						1	4	4	●	938000
0300	廃油						9	3	●	737000	1500	繊維くず								6	●	025000
0400	廃酸						0	●	102000	1600	動植物性残さ								0	●	910000	
0500	廃アルカリ						0	●	138000	1700	動物系固形不要物								0	●	000000	
0600	廃プラスチック類			1	1	3	0	●	483000	1800	動物のふん尿								0	●	000000	
0700	ゴムくず						0	●	000000	1900	動物の死体								0	●	000000	
0800	金属くず					1	4	4	●	583000	2000	産業廃棄物を処分するために処理したもの (例 焼却灰の溶融固化物等)								0	●	000000
0900	ガラス・コンクリート・陶磁器くず					1	0	9	●	979000	5000	石綿含有産業廃棄物								0	●	000000
1000	鉱さい						0	●	000000	6100	水銀含有ばいじん等								0	●	000000	
1100	がれき類（建設廃材のコンクリートを含む）						0	●	000000	6200	水銀使用製品産業廃棄物								8	●	526000	
1200	ばいじん						0	●	000000		合計						2	0	8	3	●	067000

注1: がれき類などに該当するものであっても、石綿を含有する場合は「5000 石綿含有産業廃棄物」に分類してください。(0100～2000のコードに計上しないでください。)
 注2: 金属くず、廃プラスチック類、汚泥などに該当するものであっても、「水銀使用製品産業廃棄物」又は「水銀含有ばいじん等」とマニフェスト(交付日が平成29年10月1日以降の物に限る。)に記載されている場合は、「6100 水銀含有ばいじん等」、「6200 水銀使用製品産業廃棄物」に分類してください。(0100～2000のコードに計上しないでください。)
 注3: 「m」、「kg」は、「t」に換算し記入してください。

事業者名	株式会社 リスト	13-00-017058
------	----------	--------------

この様式（第1号様式 その2）は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
 収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	汚泥
コード	0200

⇒「廃棄物の種類」は第1号様式（その1）の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第1号様式（その1）の0100から6002までのうちから1つを記入してください。

※注1：都内で積み込み又は積み卸したものが対象です。

※注2：収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都（八王子市を除く）分と八王子市分をそれぞれ分けて記入してください。

（平成27年4月より、八王子市が中核市となったことに伴う。）その他は、都道府県単位で記入してください。

（収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2）

（運搬先別内訳 ※注2）

【A】 収集運搬受託量 （委託を受け運搬したもの） ※注1				
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算				
百	十	千	百	十
万	万	千	百	十
				少数点 以下6桁
		9	5	035000

都道府県 又は 八王子市	発生地別の 収集運搬 受託量				
	【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算				
東京都 (八王子市を除く) ※注2	百	十	千	百	十
	万	万	千	百	十
					少数点 以下6桁
		9	5	075000	
八王子市 ※注2			1		960000
埼玉県					
千葉県					
神奈川県					
茨城県					
栃木県					
群馬県					
合計			9	5	035000

運搬先の 都道府県 又は 八王子市	中間処理業者へ運搬したもの				最終処分業者へ運搬したもの				積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3										
	具体的な処分方法を記入(例：脱水、焼却、破碎など)				運搬先に○を記入															
	(焼却) () () ()				(埋立・海洋投入)															
	【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は、「t」に換算し数字を記入してください。																			
	百	十	千	百	十	百	十	千	百	十	百	十	千	百	十	百	十	千	百	十
	万	万	千	百	十	万	万	千	百	十	万	万	千	百	十	万	万	千	百	十
					少数点 以下6桁					少数点 以下6桁					少数点 以下6桁					少数点 以下6桁
東京都 (八王子市を除く) ※注2			9	5	035000															
八王子市 ※注2																				
埼玉県																				
千葉県																				
神奈川県																				
茨城県																				
栃木県																				
群馬県																				
合計			9	5	035000															

第1号様式(その1)の
該当種類の数量欄へ
転記して下さい

【B】 自社運搬 ※注1 (排出者と運搬者が自社)				
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算				
百	十	千	百	十
万	万	千	百	十
				少数点 以下6桁
		0		

運搬量合計 【A】+【B】				
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算				
百	十	千	百	十
万	万	千	百	十
				少数点 以下6桁
		9	5	035000

※注3：自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。（マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。）

【確認欄】	東京都へ申請している車両について
車両の総台数	8 台

車両の最大積載量の総和	26.85 t
-------------	---------

【記載例】	2tトラック・・・5台	5tトラック・・・2台	塵芥車(2t用)・・・2台	の場合
車両の総台数	9	台	車両の最大積載量の総和	24 t

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

事業者名	株式会社 リスト	13-00-017058
------	----------	--------------

この様式（第1号様式 その2）は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	廃油
コード	0300

⇒「廃棄物の種類」は第1号様式（その1）の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第1号様式（その1）の0100から6002までのうちから1つを記入してください。

※注1：都内で積み込み又は積み卸したものが対象です。

※注2：収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都（八王子市を除く）分と八王子市分をそれぞれ分けて記入してください。（平成27年4月より、八王子市が中核市となったことに伴う。）その他は、都道府県単位で記入してください。

【A】 収集運搬受託量 (委託を受け運搬したもの) ※注1	発生地別の収集運搬受託量		運搬先の都道府県又は八王子市		中間処理業者へ運搬したもの		最終処分業者へ運搬したもの		積替保管施設へ運搬したもの	再生・売却 ※注3	
	【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算		【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算		具体的な処分方法を記入(例：脱水、焼却、破砕など)		運搬先に○を記入				
	【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算し数字を記入してください。										
東京都(八王子市を除く) ※注2	9	3	9	1	969000	焼却					
八王子市 ※注2				1	768000						
埼玉県											
千葉県											
神奈川県											
茨城県											
栃木県											
群馬県											
合計	9	3	9	3	737000						

第1号様式(その1)の該当種類の数量欄へ転記して下さい

【B】 自社運搬 ※注1 (排出者と運搬者が自社)

【単位：トン(t)/年】
「m」「kg」は「t」に換算

百	十	万	千	百	十	一	少数点以下6桁
						0	

運搬量合計
【A】+【B】

【単位：トン(t)/年】
「m」「kg」は「t」に換算

百	十	万	千	百	十	一	少数点以下6桁
				9	3	737000	

※注3：自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。（ manifests の交付がないものは、集計から除いてください。）

【確認欄】 東京都へ申請している車両について

車両の総台数	8 台	車両の最大積載量の総和	26.85 t
--------	-----	-------------	---------

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

【記載例】

2tトラック・・・5台	5tトラック・・・2台	塵芥車（2t用）・・・2台	の場合
車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	24 t

Table with business name (株式会社 リスト), ID (13-00-017058)

この様式 (第1号様式 その2) は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。

Table with columns: 産業廃棄物の種類 (廃酸), コード (0400)

⇒「廃棄物の種類」は第1号様式 (その1) の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第1号様式 (その1) の0100から6002までのうちから1つを記入してください。

※注1: 都内で積み込み又は積み卸したものが対象です。

※注2: 収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都 (八王子市を除く) 分と八王子市分をそれぞれ分けて記入してください。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2)

(運搬先別内訳 ※注2)

Table [A] 収集運搬受託量 (委託を受け運搬したもの) with unit conversion instructions.

Main table for collection/disposal location breakdown with columns for region and quantity.

Main table for carrier breakdown with columns for carrier type and quantity.

第1号様式 (その1) の該当種類の数量欄へ転記して下さい

Table [B] 自社運搬 (排出者と運搬者が自社) with unit conversion instructions.

Table for total transport volume calculation (合計).

※注3: 自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。

【確認欄】 東京都へ申請している車両について

車両の総台数 8 台

車両の最大積載量の総和 26.85 t

【記載例】 2tトラック・・・5台 5tトラック・・・2台 塵芥車(2t用)・・・2台 の場合

車両の総台数 9 台

車両の最大積載量の総和 24 t

注: 車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

事業者名	株式会社 リスト	13-	00	-	017058
------	----------	-----	----	---	--------

この様式（第1号様式 その2）は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	廃アルカリ
コード	0500

⇒「廃棄物の種類」は第1号様式（その1）の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第1号様式（その1）の0100から6002までのうちから1つを記入してください。

※注1：都内で積み込み又は積み卸したものが対象です。

（収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2）

（運搬先別内訳 ※注2）

※注2：収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都（八王子市を除く）分と八王子市分をそれぞれ分けて記入してください。
（平成27年4月より、八王子市が中核市となったことに伴う。）その他は、都道府県単位で記入してください。

【A】 収集運搬受託量 （委託を受け運搬したもの） ※注1	発生地別の 収集運搬 受託量	中間処理業者へ運搬したもの		最終処分業者へ運搬したもの		積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3
		具体的な処分方法を記入（例：脱水、焼却、破砕など）		運搬先に○を記入			
		焼却		埋立・海洋投入			
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算		【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は、「t」に換算し数字を記入してください。					
百 十 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁	百 十 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁	百 十 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁	百 十 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁	百 十 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁	百 十 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁	百 十 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁	百 十 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁
0 138000	0 138000	0 138000					
八王子市 ※注2							
八王子市 ※注2	0 000000						
埼玉県							
千葉県							
神奈川県							
茨城県							
栃木県							
群馬県							
合計	0 138000	0 138000					

第1号様式（その1）の
該当種類の数量欄へ
転記して下さい

【B】 自社運搬 ※注1 （排出者と運搬者が自社）
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算
百 十 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁
0

運搬量合計 【A】+【B】
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算
百 十 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁
0 138000

※注3：自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。（マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。）

【確認欄】 東京都へ申請している車両について	【記載例】 2tトラック・・・6台 5tトラック・・・2台 塵芥車（2t用）・・・2台 の場合
車両の総台数 8 台	車両の最大積載量の総和 26.85 t
	車両の総台数 9 台 車両の最大積載量の総和 24 t

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量と比較し「t」で計算されているか確認してください。

事業者名	株式会社 リスト	13-	00	-	017058
------	----------	-----	----	---	--------

この様式（第1号様式 その2）は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
 収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類
コード	0600

⇒「廃棄物の種類」は第1号様式（その1）の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第1号様式（その1）の0100から6002までのうちから1つを記入してください。

※注1：都内で積み込み又は積み卸したものが対象です。

※注2：収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都（八王子市を除く）分と八王子市分をそれぞれ分けて記入してください。

（平成27年4月より、八王子市が中核市となったことに伴う。）その他は、都道府県単位で記入してください。

（収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2）

（運搬先別内訳 ※注2）

【A】 収集運搬受託量 （委託を受け運搬したもの） ※注1	
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	
百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 万 千 百 十 一 以下6桁	483000

都道府県 又は 八王子市	発生地別の 収集運搬 受託量	
	【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	
百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 万 千 百 十 一 以下6桁	483000	
東京都 (八王子市を除く) ※注2	9 6 6	605000
八王子市 ※注2	1 6 3	878000
埼玉県		
千葉県		
神奈川県		
茨城県		
栃木県		
群馬県		
合計	1 1 3 0	483000

第1号様式（その1）の
該当種類の数量欄へ
転記して下さい

【B】 自社運搬 ※注1 （排出者と運搬者が自社）	
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	
百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 万 千 百 十 一 以下6桁	0

運搬量合計 【A】+【B】	
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	
百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 万 千 百 十 一 以下6桁	483000

運搬先の 都道府県 又は 八王子市	中間処理業者へ運搬したもの		最終処分業者へ運搬したもの		積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3	
	具体的な処分方法を記入（例：脱水、焼却、破碎など）		運搬先に○を記入				
（ 焼却 ） （ ） （ ） （ ）	【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は、「t」に換算し数字を記入してください。						
百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 万 千 百 十 一 以下6桁	483000						
東京都 (八王子市を除く) ※注2							
八王子市 ※注2							
埼玉県							
千葉県							
神奈川県							
茨城県							
栃木県							
群馬県							
合計	1 1 3 0	483000					

※注3：自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。（ Manifestoの交付がないものは、集計から除いてください。）

【確認欄】	東京都へ申請している車両について
車両の総台数	8 台
車両の最大積載量の総和	26.85 t

【記載例】	2tトラック・・・5台	5tトラック・・・2台	塵芥車(2t用)・・・2台	の場合
車両の総台数	9	台	車両の最大積載量の総和	24 t

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

事業者名	株式会社 リスト	13-	00	-	017058
------	----------	-----	----	---	--------

この様式（第1号様式 その2）は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
 収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	金属くず
コード	0800

⇒「廃棄物の種類」は第1号様式（その1）の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第1号様式（その1）の0100から6002までのうちから1つを記入してください。

※注1：都内で積み込み又は積み卸したものが対象です。

※注2：収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都（八王子市を除く）分と八王子市分をそれぞれ分けて記入してください。
 （平成27年4月より、八王子市が中核市となったことに伴う。）その他は、都道府県単位で記入してください。

【A】 収集運搬受託量 (委託を受け運搬したもの) ※注1	発生地別の 収集運搬 受託量	中間処理業者へ運搬したもの		最終処分業者へ運搬したもの		積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3
		具体的な処分方法を記入(例：脱水、焼却、破碎など) (破碎) () () (埋立・海洋投入)		運搬先に○を記入			
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算		【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は、「t」に換算し数字を記入してください。					
百 十 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁
1 4 4 583000	1 3 4 769000	1 4 4 583000					
八王子市 ※注2	八王子市 ※注2						
	埼玉県						
	千葉県						
	神奈川県						
	茨城県						
	栃木県						
	群馬県						
合計	合計	合計					
1 4 4 583000	1 3 4 769000	1 4 4 583000					

第1号様式(その1)の
該当種類の数量欄へ
転記して下さい

【B】 自社運搬 ※注1 (排出者と運搬者が自社)
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算
百 十 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁
0

運搬量合計 【A】+【B】
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算
百 十 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁
1 4 4 583000

※注3：自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。（マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。）

【確認欄】	東京都へ申請している車両について	車両の総台数	8 台	車両の最大積載量の総和	26.85 t
【記載例】	2tトラック・・・6台 5tトラック・・・2台 塵芥車(2t用)・・・2台 の場合	車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	24 t

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

事業者名	株式会社 リスト	13-	00	-	017058
------	----------	-----	----	---	--------

この様式(第1号様式 その2)は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
 収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
コード	0900

⇒「廃棄物の種類」は第1号様式(その1)の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第1号様式(その1)の0100から6002までのうちから1つを記入してください。

※注1: 都内で積み込み又は積み卸したものが対象です。

※注2: 収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都(八王子市を除く)分と八王子市分をそれぞれ分けて記入してください。
 (平成27年4月より、八王子市が中核市となったことに伴う。) 其他は、都道府県単位で記入してください。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2)

(運搬先別内訳 ※注2)

【A】 収集運搬受託量 (委託を受け運搬したもの) ※注1					
【単位: トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算					
百	十	万	千	百	十
					1 0 9
					979000

第1号様式(その1)の
該当種類の数量欄へ
転記して下さい

都道府県 又は 八王子市	発生地別の 収集運搬 受託量	
	【単位: トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	【単位: トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算
東京都 (八王子 市を除く) ※注2	1 0 9	979000
八王子市 ※注2	7	474000
埼玉県		
千葉県		
神奈川県		
茨城県		
栃木県		
群馬県		
合計	1 0 9	979000

運搬先の 都道府県 又は 八王子市	中間処理業者へ運搬したもの						最終処分業者へ運搬したもの						積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3																
	具体的な処分方法を記入(例:脱水、焼却、破砕など) (破 砕) () () () () ()						運搬先に〇を記入 (埋 立 ・ 海 洋 投 入)																							
【単位: トン(t)/年】 「m」「kg」は、「t」に換算し数字を記入してください。																														
	百	十	万	千	百	十	百	十	万	千	百	十	百	十	万	千	百	十	百	十	万	千	百	十	百	十	万	千	百	十
東京都 (八王子 市を除く) ※注2						1 0 9																								
八王子市 ※注2																														
埼玉県																														
千葉県																														
神奈川県																														
茨城県																														
栃木県																														
群馬県																														
合計						1 0 9										979000														

※注3: 自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。(マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。)

【確認欄】	東京都へ申請している車両について
車両の総台数	8 台
車両の最大積載量の総和	26.85 t

【記載例】	2tトラック・・・5台	5tトラック・・・2台	塵芥車(2t用)・・・2台	の場合
車両の総台数	9	台	車両の最大積載量の総和	24 t

注: 車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

事業者名	株式会社 リスト	13-	00	-	017058
------	----------	-----	----	---	--------

この様式（第1号様式 その2）は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	紙くず
コード	1300

⇒「廃棄物の種類」は第1号様式（その1）の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第1号様式（その1）の0100から6002までのうちから1つを記入してください。

※注1：都内で積み込み又は積み卸したものが対象です。

※注2：収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都（八王子市を除く）分と八王子市分をそれぞれ分けて記入してください。
（平成27年4月より、八王子市が中核市となったことに伴う。）その他は、都道府県単位で記入してください。

【A】 収集運搬受託量 (委託を受け運搬したもの) ※注1	発生地別の 収集運搬 受託量	運搬先の 都道府県 又は 八王子市		中間処理業者へ運搬したもの		最終処分業者へ運搬したもの		積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3
		都道府県 又は 八王子市	発生地別の 収集運搬 受託量	具体的な処分方法を記入(例:脱水、焼却、破碎など)	運搬先に○を記入				
【単位:トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算		【単位:トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算		【単位:トン(t)/年】 「m」「kg」は、「t」に換算し数字を記入してください。					
百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 万 千 百 十 一 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 万 千 百 十 一 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 万 千 百 十 一 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 万 千 百 十 一 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 万 千 百 十 一 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 万 千 百 十 一 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 万 千 百 十 一 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 万 千 百 十 一 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 万 千 百 十 一 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 万 千 百 十 一 以下6桁
3 4 8 611000	3 3 7 735000	東京都 (八王子市を除く) ※注2	3 4 8 611000	焼却					
	1 0 876000	八王子市 ※注2							
		埼玉県							
		千葉県							
		神奈川県							
		茨城県							
		栃木県							
		群馬県							
		合計	3 4 8 611000	合計	3 4 8 611000				

第1号様式(その1)の
該当種類の数量欄へ
転記して下さい

【B】 自社運搬 ※注1 (排出者と運搬者が自社)
【単位:トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算
百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 万 千 百 十 一 以下6桁
0

運搬量合計 【A】+【B】
【単位:トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算
百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 万 千 百 十 一 以下6桁
3 4 8 611000

※注3：自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。（マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。）

【確認欄】	東京都へ申請している車両について	【記載例】	2tトラック・・・5台	5tトラック・・・2台	塵芥車(2t用)・・・2台	の場合	
車両の総台数	8 台	車両の最大積載量の総和	26.85 t	車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	24 t

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

事業者名	株式会社 リスト	13-	00	-	017058
------	----------	-----	----	---	--------

この様式（第1号様式 その2）は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	木くず
コード	1400

⇒「廃棄物の種類」は第1号様式（その1）の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第1号様式（その1）の0100から6002までのうちから1つを記入してください。

※注1：都内で積み込み又は積み卸したものが対象です。

※注2：収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都（八王子市を除く）分と八王子市分をそれぞれ分けて記入してください。
（平成27年4月より、八王子市が中核市となったことに伴う。）その他は、都道府県単位で記入してください。

（収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2）

（運搬先別内訳 ※注2）

【A】 収集運搬受託量 （委託を受け運搬したもの） ※注1	都道府県 又は 八王子市	発生地別の 収集運搬 受託量 【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	中間処理業者へ運搬したもの		最終処分業者へ運搬したもの		積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3		
			具体的な処分方法を記入（例：脱水、焼却、破碎など）						運搬先に○を記入	
			焼却							
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は、「t」に換算し数字を記入してください。										
百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁		百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁		
1 4 4 938000	東京都 (八王子市を除く) ※注2	1 3 3 169000	1 4 4 938000							
第1号様式(その1)の 該当種類の数量欄へ 転記して下さい	八王子市 ※注2	1 1 769000								
	埼玉県									
	千葉県									
	神奈川県									
	茨城県									
	栃木県									
	群馬県									
	合計	1 4 4 938000	1 4 4 938000							

※注3：自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。（マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。）

【確認欄】	東京都へ申請している車両について	車両の総台数	8 台	車両の最大積載量の総和	26.85 t
【記載例】	2tトラック・・・5台	5tトラック・・・2台	塵芥車(2t用)・・・2台	の場合	
	車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	24 t	

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

事業者名	株式会社 リスト	13-	00	-	017058
------	----------	-----	----	---	--------

この様式（第1号様式 その2）は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	繊維くず
コード	1500

⇒「廃棄物の種類」は第1号様式（その1）の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第1号様式（その1）の0100から6002までのうちから1つを記入してください。

※注1：都内で積み込み又は積み卸したものが対象です。

※注2：収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都（八王子市を除く）分と八王子市分をそれぞれ分けて記入してください。
（平成27年4月より、八王子市が中核市となったことに伴う。）その他は、都道府県単位で記入してください。

【A】 収集運搬受託量 （委託を受け運搬したもの） ※注1	発生地別の 収集運搬 受託量	（収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2）		（運搬先別内訳 ※注2）		中間処理業者へ運搬したもの 具体的な処分方法を記入（例：脱水、焼却、破砕など）	最終処分業者へ運搬したもの 運搬先に○を記入 （埋立・海洋投入）	積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3						
		都道府県 又は 八王子市	【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	運搬先の 都道府県 又は 八王子市	【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算										
<table border="1"> <tr> <td>【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算</td> <td>少数点 以下6桁</td> </tr> <tr> <td>百 十 万 千 百 十 一</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>025000</td> </tr> </table>	【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	少数点 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一	・	6	025000	東京都 (八王子市を除く) ※注2	5	965000	東京都 (八王子市を除く) ※注2	6	025000			
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	少数点 以下6桁														
百 十 万 千 百 十 一	・														
6	025000														
	八王子市 ※注2	0	060000	八王子市 ※注2											
	埼玉県			埼玉県											
	千葉県			千葉県											
	神奈川県			神奈川県											
	茨城県			茨城県											
	栃木県			栃木県											
	群馬県			群馬県											
運搬量合計 【A】+【B】		6	025000	6	025000										

第1号様式(その1)の
該当種類の数量欄へ
転記して下さい

【B】 自社運搬 ※注1 (排出者と運搬者が自社)	
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	少数点 以下6桁
百 十 万 千 百 十 一	・
0	

運搬量合計 【A】+【B】	
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	少数点 以下6桁
百 十 万 千 百 十 一	・
6	025000

※注3：自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。（マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。）

【確認欄】	東京都へ申請している車両について	【記載例】	2tトラック・・・5台	5tトラック・・・2台	塵芥車（2t用）・・・2台	の場合	
車両の総台数	8 台	車両の最大積載量の総和	26.85 t	車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	24 t

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

事業者名	株式会社 リスト	13-00-017058
------	----------	--------------

この様式（第1号様式 その2）は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	動植物性残さ	⇒「廃棄物の種類」は第1号様式（その1）の種類のうちから1つを記入してください。
コード	1600	⇒「コード」は第1号様式（その1）の0100から6002までのうちから1つを記入してください。

※注1：都内で積み込み又は積み卸したものが対象です。

※注2：収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都（八王子市を除く）分と八王子市分をそれぞれ分けて記入してください。
（平成27年4月より、八王子市が中核市となったことに伴う。）その他は、都道府県単位で記入してください。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2)

(運搬先別内訳 ※注2)

【A】収集運搬受託量 (委託を受け運搬したもの) ※注1	
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	
百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁	0 910000

第1号様式(その1)の
該当種類の数量欄へ
転記して下さい

【B】自社運搬 ※注1 (排出者と運搬者が自社)	
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	
百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁	0

運搬量合計 【A】+【B】	
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	
百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁	0 910000

都道府県 又は 八王子市	発生地別の 収集運搬 受託量	
	【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算
百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁
東京都 (八王子市を除く) ※注2	0	000000
八王子市 ※注2	0	910000
埼玉県		
千葉県		
神奈川県		
茨城県		
栃木県		
群馬県		
合計	0	910000

運搬先の 都道府県 又は 八王子市	中間処理業者へ運搬したもの		最終処分業者へ運搬したもの		積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3
	具体的な処分方法を記入(例：脱水、洗却、破砕など) (焼却) () ()		運搬先に○を記入 (埋立・海洋投入)			
百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁	【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算し数字を記入してください。					
	百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁
東京都 (八王子市を除く) ※注2	0	910000				
八王子市 ※注2						
埼玉県						
千葉県						
神奈川県						
茨城県						
栃木県						
群馬県						
合計	0	910000				

※注3：自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。（マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。）

【確認欄】 東京都へ申請している車両について

【記載例】 2tトラック・・・5台 5tトラック・・・2台 塵芥車(2t用)・・・2台 の場合

車両の総台数	8 台	車両の最大積載量の総和	26.85 t
--------	-----	-------------	---------

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	24 t
--------	-----	-------------	------

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

事業者名	株式会社 リスト	13-	00	-	017058
------	----------	-----	----	---	--------

この様式(第1号様式 その2)は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物
コード	6200

⇒「廃棄物の種類」は第1号様式(その1)の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第1号様式(その1)の0100から6002までのうちから1つを記入してください。

※注1: 都内で積み込み又は積み卸したものが対象です。

※注2: 収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都(八王子市を除く)分と八王子市分をそれぞれ分けて記入してください。(平成27年4月より、八王子市が中核市となったことに伴う。)その他は、都道府県単位で記入してください。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2)

(運搬先別内訳 ※注2)

【A】収集運搬受託量 (委託を受け運搬したもの) ※注1	
【単位:トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	
百 十 万 千 百 十 一 小数点 以下6桁	8 526000

都道府県又は八王子市	発生地別の収集運搬受託量
	【単位:トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算
	百 十 万 千 百 十 一 小数点 以下6桁
東京都(八王子市を除く) ※注2	8 526000
八王子市 ※注2	0 000000
埼玉県	
千葉県	
神奈川県	
茨城県	
栃木県	
群馬県	
合計	8 526000

運搬先の都道府県又は八王子市	中間処理業者へ運搬したもの				最終処分業者へ運搬したもの				積替保管施設へ運搬したもの	再生・売却 ※注3
	具体的な処分方法を記入(例:脱水、焼却、破砕など)									
	破砕				埋立・海洋投入					
	【単位:トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算し数字を記入してください。									
	百 十 万 千 百 十 一 小数点 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 小数点 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 小数点 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 小数点 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 小数点 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 小数点 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 小数点 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 小数点 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 小数点 以下6桁	百 十 万 千 百 十 一 小数点 以下6桁
東京都(八王子市を除く) ※注2	8	526000								
八王子市 ※注2										
埼玉県										
千葉県										
神奈川県										
茨城県										
栃木県										
群馬県										
合計	8	526000								

第1号様式(その1)の該当種類の数量欄へ転記して下さい

【B】自社運搬 ※注1 (排出者と運搬者が自社)	
【単位:トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	
百 十 万 千 百 十 一 小数点 以下6桁	0

運搬量合計 【A】+【B】	
【単位:トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	
百 十 万 千 百 十 一 小数点 以下6桁	8 526000

※注3: 自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。(マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。)

【確認欄】	東京都へ申請している車両について
車両の総台数	8 台
車両の最大積載量の総和	26.85 t

【記載例】	2tトラック・・・5台	5tトラック・・・2台	塵芥車(2t用)・・・2台	の場合
車両の総台数	9	台	車両の最大積載量の総和	24 t

注: 車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

特別管理産業廃棄物収集運搬業実績報告書（平成29年度）

30 年 5 月 7 日

東京都知事 殿

【報告者】

住所 東京都国立市谷保6300番地

氏名 株式会社 リスト
代表取締役 遠藤 重雄

（法人にあつては名称及び代表者の氏名）

電話番号 042-572-1300



運搬実績 ①東京都内(八王子市除く) ⇒ 東京都内(八王子市除く) ②東京都内(八王子市除く) ⇒ 他道府県又は八王子市 ③他道府県又は八王子市 ⇒ 東京都内(八王子市除く)	①~③のいずれかの実績が ある なし	許可番号 13 - 56 - 017058
担当者氏名 三田 和広	担当者電話番号 042-571-0010	

特別管理産業廃棄物の収集運搬受託量

※自社運搬(排出者と運搬受託者が自社の場合)は、集計から除いてください。

コード	種類	数量 【単位：トン(t)/年】							コード	種類	数量 【単位：トン(t)/年】								
		百 万	十 万	万	千	百	十	一 小 数 点			少数点 以下6桁	百 万	十 万	万	千	百	十	一 小 数 点	少数点 以下6桁
0350	引火性廃油 (6003を除く)						2	●	442000	6001	燃え殻 (有害)						0	●	000000
0450	強廃酸 (6004を除く)						0	●	426000	6002	汚泥 (有害)						0	●	000000
0550	強廃アルカリ (6005を除く)						0	●	290000	6003	廃油 (有害)						0	●	000000
2150	感染性産業廃棄物					4	6	●	640000	6004	廃酸 (有害)						0	●	000000
2251	廃ポリ塩化ビフェニル						0	●	000000	6005	廃アルカリ (有害)						0	●	000000
2252	ポリ塩化ビフェニル汚染物						0	●	000000	6006	鉍さい (有害)						0	●	000000
2253	ポリ塩化ビフェニル処理物						0	●	000000	6007	ばいじん (有害)						0	●	000000
2350	廃石綿等						0	●	000000	6008	廃水銀等						0	●	000000
注：「m ³ 」「kg」は、「t」に換算し記入してください。									合 計							4	9	●	798000

事業者名	株式会社 リスト	13-	56	-	017058
------	----------	-----	----	---	--------

この様式（第2号様式 その2）は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	強腐蝕	⇒「廃棄物の種類」は第2号様式（その1）の種類のうちから1つを記入してください。
コード	0450	⇒「コード」は第2号様式（その1）の0350から6008までのうちから1つを記入してください。

※注1：都内で積み込み又は積み卸したものが対象です。

※注2：収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都（八王子市を除く）分と八王子市分をそれぞれ分けて記入してください。
（平成27年4月より、八王子市が中核市となったことに伴う。）その他は、都道府県単位で記入してください。

【A】 収集運搬受託量 （委託を受け運搬したもの） ※注1
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算
百 十 千 百 十 少数点 万 万 万 千 百 十 以下6桁 .
0 426000

第1号様式（その1）の
該当種類の数量欄へ
転記して下さい

【B】 自社運搬 ※注1 （排出者と運搬者が自社）
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算
百 十 千 百 十 少数点 万 万 万 千 百 十 以下6桁 .
0

運搬量合計 【A】+【B】
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算
百 十 千 百 十 少数点 万 万 万 千 百 十 以下6桁 .
0 426000

（収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2）

発生地別の 収集運搬 受託量	【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算					
	百	十	千	百	十	少数点 以下6桁
都道府県 又は 八王子市						
東京都 （八王子市を除く） ※注2						0 426000
八王子市 ※注2						0 000000
埼玉県						
千葉県						
神奈川県						
茨城県						
栃木県						
群馬県						
合計						0 426000

（運搬先別内訳 ※注2）

運搬先の 都道府県 又は 八王子市	中間処理業者へ運搬したもの						最終処分業者へ運搬したもの						積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3										
	具体的な処分方法を記入（例：脱水、焼却、破砕など）																							
	（ 焼却 ） （ ） （ ） （ ） （ ） （ ） （ ） （ ） （ ） （ ） （ ）												運搬先に○を記入 （ 埋立 ・ 海洋投入 ）											
	【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算し数字を記入してください。																							
	百	十	千	百	十	少数点 以下6桁	百	十	千	百	十	少数点 以下6桁	百	十	千	百	十	少数点 以下6桁	百	十	千	百	十	少数点 以下6桁
東京都 （八王子市を除く） ※注2						0 426000																		
八王子市 ※注2																								
埼玉県																								
千葉県																								
神奈川県																								
茨城県																								
栃木県																								
群馬県																								
合計						0 426000																		

※注3：自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。（マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。）

【確認欄】 東京都へ申請している車両について

車両の総台数	8 台	車両の最大積載量の総和	26.85 t
--------	-----	-------------	---------

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

【記載例】 2tトラック・・・5台 5tトラック・・・2台 塵芥車（2t用）・・・2台 の場合

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	24 t
--------	-----	-------------	------

事業者名	株式会社 リスト	13-	56	-	017058
------	----------	-----	----	---	--------

この様式(第2号様式 その2)は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
 収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	強廃アルカリ
コード	0550

⇒「廃棄物の種類」は第2号様式(その1)の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第2号様式(その1)の0350から6008までのうちから1つを記入してください。

※注1: 都内で積み込み又は積み卸したものが対象です。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2)

(運搬先別内訳 ※注2)

※注2: 収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都(八王子市を除く)分と八王子市分をそれぞれ分けて記入してください。
 (平成27年4月より、八王子市が中核市となったことに伴う。) その他は、都道府県単位で記入してください。

【A】 収集運搬受託量 (委託を受け運搬したもの) ※注1	発生地別の 収集運搬 受託量	中間処理業者へ運搬したもの					最終処分業者へ運搬したもの					積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3	
		具体的な処分方法を記入(例:脱水、焼却、破碎など)												
【単位:トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	【単位:トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	【単位:トン(t)/年】 「m」「kg」は、「t」に換算し数字を記入してください。												
百 十 千 百 十 少数点 万 万 年 百 十 以下6桁	百 十 千 百 十 少数点 万 万 年 百 十 以下6桁	百 十 千 百 十 少数点 万 万 年 百 十 以下6桁	百 十 千 百 十 少数点 万 万 年 百 十 以下6桁	百 十 千 百 十 少数点 万 万 年 百 十 以下6桁	百 十 千 百 十 少数点 万 万 年 百 十 以下6桁	百 十 千 百 十 少数点 万 万 年 百 十 以下6桁	百 十 千 百 十 少数点 万 万 年 百 十 以下6桁	百 十 千 百 十 少数点 万 万 年 百 十 以下6桁	百 十 千 百 十 少数点 万 万 年 百 十 以下6桁	百 十 千 百 十 少数点 万 万 年 百 十 以下6桁	百 十 千 百 十 少数点 万 万 年 百 十 以下6桁	百 十 千 百 十 少数点 万 万 年 百 十 以下6桁	百 十 千 百 十 少数点 万 万 年 百 十 以下6桁	百 十 千 百 十 少数点 万 万 年 百 十 以下6桁
0 290000	0 290000	焼却												
		東京都(八王子市を除く) ※注2	0	290000										
		八王子市 ※注2		0	000000									
		埼玉県												
		千葉県												
		神奈川県												
		茨城県												
		栃木県												
		群馬県												
		合計	0	290000										

※注3: 自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。(マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。)

【確認欄】 東京都へ申請している車両について

車両の総台数	8	台
車両の最大積載量の総和	26.85	t

【記載例】 2tトラック・・・5台 5tトラック・・・2台 塵芥車(2t用)・・・2台 の場合

車両の総台数	9	台	車両の最大積載量の総和	24	t
--------	---	---	-------------	----	---

注: 車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

事業者名	株式会社 リスト	13-	56	-	017058
------	----------	-----	----	---	--------

この様式（第2号様式 その2）は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物
コード	2150

⇒「廃棄物の種類」は第2号様式（その1）の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第2号様式（その1）の0350から6008までのうちから1つを記入してください。

※注1：都内で積み込み又は積み卸したものが対象です。

※注2：収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都（八王子市を除く）分と八王子市分をそれぞれ分けて記入してください。
（平成27年4月より、八王子市が中核市となったことに伴う。）その他は、都道府県単位で記入してください。

【A】収集運搬受託量
（委託を受け運搬したもの）
※注1

【単位：トン(t)/年】
「m」「kg」は「t」に換算

百	十	万	千	百	十	一	小数点 以下6桁
				4	6		640000

第1号様式（その1）の
該当種類の数量欄へ
転記して下さい

【B】自社運搬 ※注1
（排出者と運搬者が自社）

【単位：トン(t)/年】
「m」「kg」は「t」に換算

百	十	万	千	百	十	一	小数点 以下6桁
				0			

運搬量合計
【A】+【B】

【単位：トン(t)/年】
「m」「kg」は「t」に換算

百	十	万	千	百	十	一	小数点 以下6桁
				4	6		640000

（収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2）

都道府県 又は 八王子市	発生地別の 収集運搬 受託量							
	【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算						
	百	十	万	千	百	十	一	小数点 以下6桁
東京都 （八王子 市を除く） ※注2					2	9		245000
八王子市 ※注2					1	7		395000
埼玉県								
千葉県								
神奈川県								
茨城県								
栃木県								
群馬県								
合計					4	6		640000

（運搬先別内訳 ※注2）

運搬先の 都道府県 又は 八王子市	中間処理業者へ運搬したもの		最終処分業者へ運搬したもの		積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3																										
	具体的な処分方法を記入（例：脱水、焼却、破碎など）		運搬先に○を記入																													
	（ 焼却 ） （ ） （ ）		（ 埋立 ・ 海洋投入 ）																													
	【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は、「t」に換算し数字を記入してください。																															
	百	十	万	千	百	十	一	小数点 以下6桁	百	十	万	千	百	十	一	小数点 以下6桁	百	十	万	千	百	十	一	小数点 以下6桁	百	十	万	千	百	十	一	小数点 以下6桁
東京都 （八王子 市を除く） ※注2					4	6		640000																								
八王子市 ※注2																																
埼玉県																																
千葉県																																
神奈川県																																
茨城県																																
栃木県																																
群馬県																																
合計					4	6		640000																								

※注3：自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。（マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。）

【確認欄】 東京都へ申請している車両について

車両の総台数	8 台	車両の最大積載量の総和	26.85 t
--------	-----	-------------	---------

【記載欄】 2tトラック・・・5台 5tトラック・・・2台 塵芥車（2t用）・・・2台 の場合

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	24 t
--------	-----	-------------	------

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。